

観光行動論 I

科目ナンバリング SOP-201

選択必修 2単位

花井 友美

1. 授業の概要(ねらい)

人間の行動についての研究は様々な分野で行われている。「観光行動論 I」では、観光場面での行動研究に注目し、観光者とそれを支える人々の行動とその背景メカニズムに関連する概念や理論を説明する。応用的かつ多角的な視点により観光行動論を紹介していく。そのため、適宜関連する産業組織学や行動経済学などからの知見を取り入れて授業を進めていく。なお、授業は2～3回の講義とその講義内容を基にした演習レポート回を組み合わせで実施する。

2. 授業の到達目標

観光者及び観光業を支える人々の行動に関する研究内容を理解し、説明できる。

3. 成績評価の方法および基準

授業内の演習レポート 60% (15%×4回)

総合試験 40%

4. 教科書・参考文献

参考文献

橋本俊哉 (2013)『観光学全集第4巻 観光行動論』 原書房

5. 準備学修の内容

- ・授業後には、授業内容や授業中に指示された事項について復習すること。
- ・授業で学修したことを普段から気に留め、注意深く観察し、自らの学びに役立てること。

具体的には、

①観光者及び観光業に従事している人々の行動を注意深く観察する

②新聞やニュース等で報道される観光にまつわる市場動向や社会情勢に目を向ける

など。

・授業計画にある4回の演習レポートの各テーマ(「旅に出る理由と出ない理由」、「観光経験の満足・不満に与える要因」、「観光地のイメージとメディアの影響」、「観光業に求められるサービスとは」)について、インターネットや新聞記事などの情報をもとに、自分の考えをまとめてくること。また、集めてきた情報(例:新聞記事)を授業に持ってくること。

6. その他履修上の注意事項

新聞やニュース等から、積極的に観光や現代社会のトレンドについての情報を収集し、常に学びの下地を作るよう心掛けてほしい。

講義中の私語及び雑談は厳禁。

受講者の内容理解度などにより、講義の進捗具合は変更の可能性がある。

授業を欠席した場合は必ず配布資料(LMSにアップロード予定)の内容を確認するとともに不明な点は教員に質問すること。

7. 授業内容

- 【第1回】 イントロダクション
- 【第2回】 自由時間行動としての観光
- 【第3回】 観光者の行動と欲求・動機
- 【第4回】 演習①(旅に出る理由と出ない理由)
- 【第5回】 観光旅行の類型
- 【第6回】 観光経験と満足感
- 【第7回】 演習②(観光経験の満足・不満に与える要因)
- 【第8回】 観光行動とテクノロジー
- 【第9回】 観光行動に影響を及ぼすイメージと情報(1)～観光地のイメージ生成
- 【第10回】 観光行動に影響を及ぼすイメージと情報(2)～与論島の事例
- 【第11回】 演習③(観光地のイメージとメディアの影響)
- 【第12回】 観光業におけるホスピタリティ
- 【第13回】 サービス提供における個人と組織
- 【第14回】 演習④(観光業に求められるサービスとは)
- 【第15回】 総合試験とまとめ